

3-5 セブン - イレブンの物流

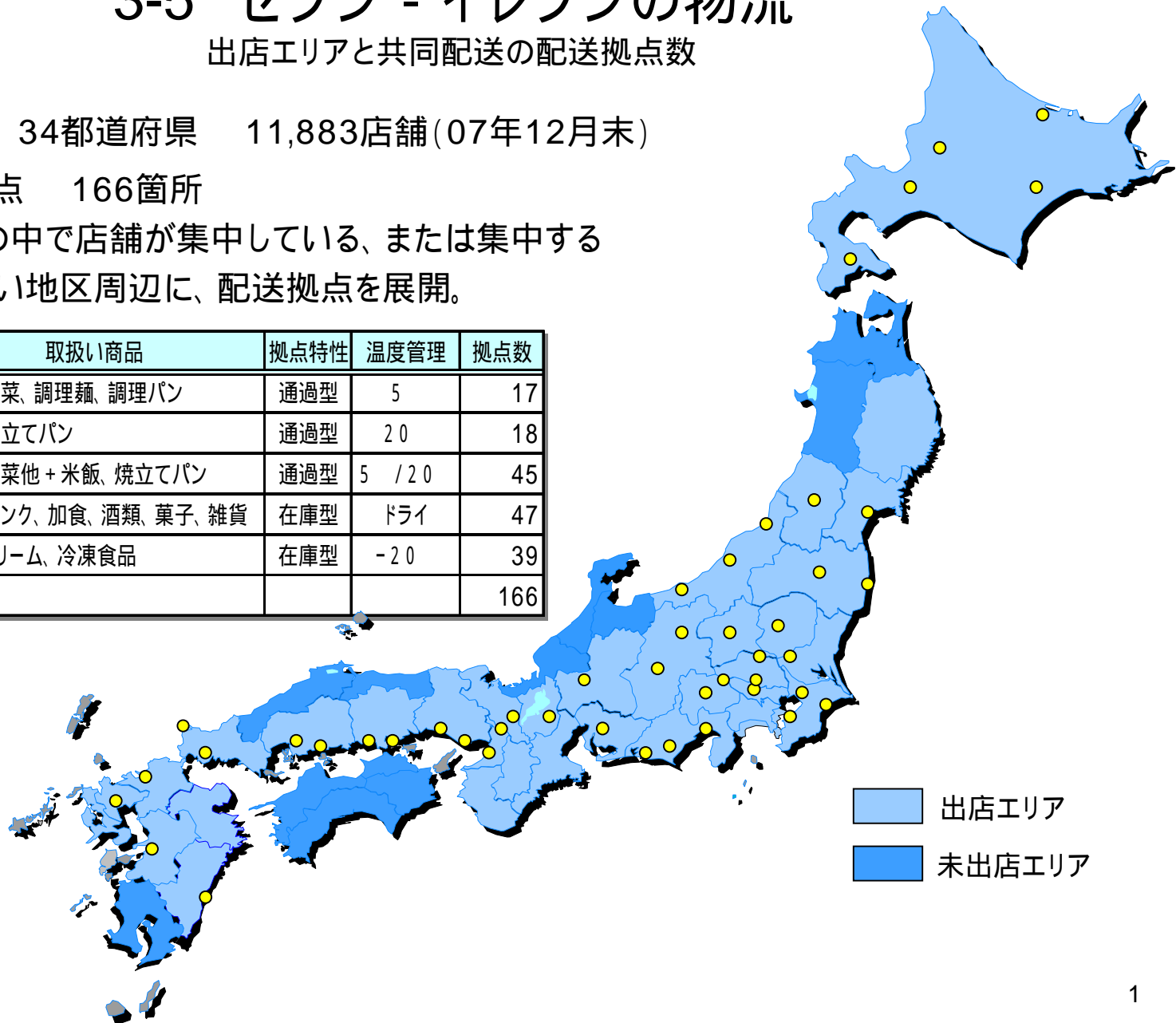
出店エリアと共同配送の配送拠点数

1) 出店エリア 34都道府県 11,883店舗(07年12月末)

2) 全国配送拠点 166箇所

出店エリアの中で店舗が集中している、または集中する見込みの高い地区周辺に、配送拠点を展開。

共配種	取扱い商品	拠点特性	温度管理	拠点数
チルド	牛乳、惣菜、調理麺、調理パン	通過型	5	17
米飯	米飯、焼立てパン	通過型	20	18
チルド・米飯	牛乳、惣菜他+米飯、焼立てパン	通過型	5 / 20	45
常温	ソフトドリンク、加食、酒類、菓子、雑貨	在庫型	ドライ	47
フローズン	アイスクリーム、冷凍食品	在庫型	-20	39
合計				166



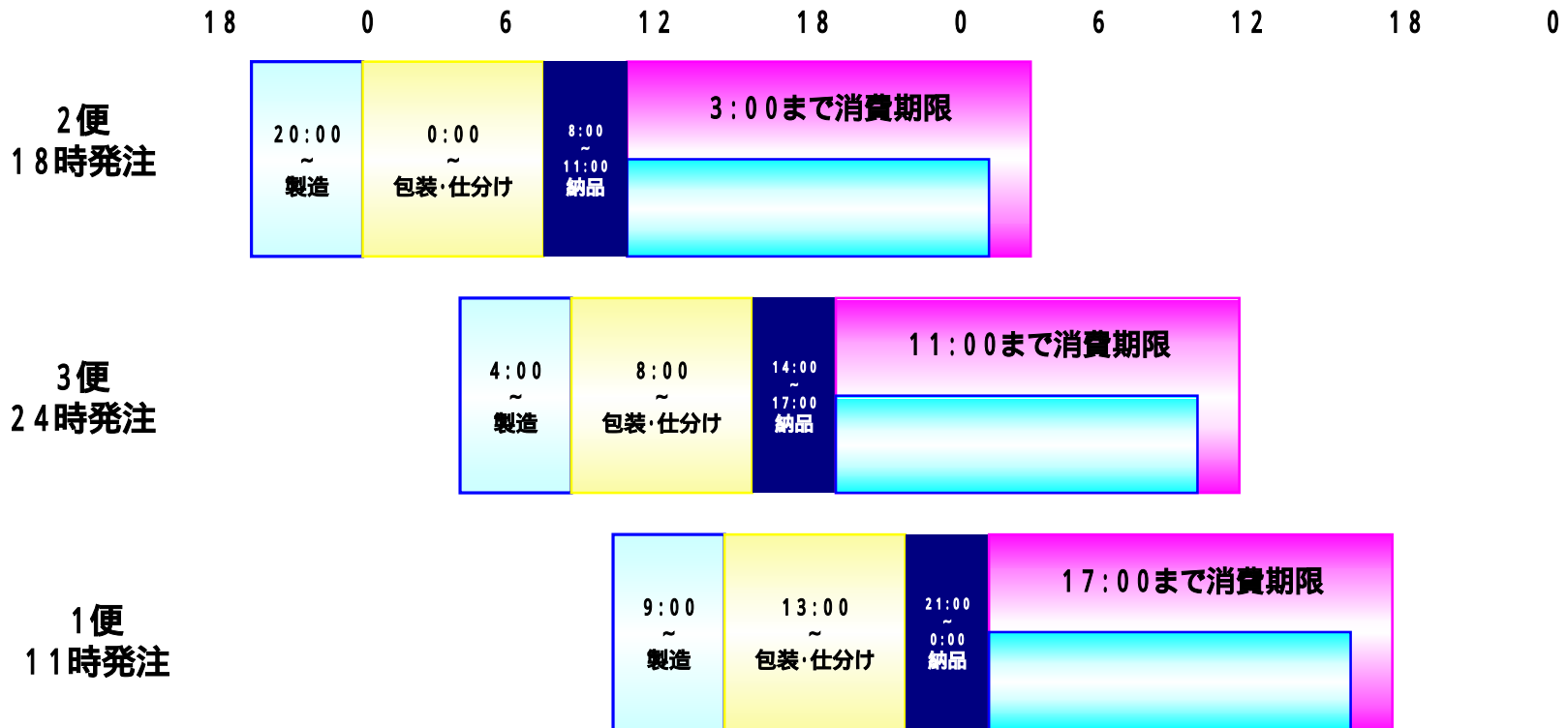
■ 出店エリア
■ 未出店エリア

セブン - イレブンの物流

必要な量を納品する・・・発注と連動した物流の構築

オリジナルデイリー商品の製造-納品-販売タイムテーブル

お店での必要量を製造し一定時間内に納品する



販売計画(発注)と製造、物流を連動させる目的で消費期限-販売期限-納品時間帯-製造時間帯のテーブルを共有
必要な量を無駄なく製造し、納品する

セブン - イレブンの物流

必要な量を納品する・・・発注と連動した物流の構築

在庫型センターでの流通加工

商品カテゴリーごとのニーズに応じ発注ロットを設定し小分けを行った上で納品



ケース単位で
納品

ソフトドリンク
カップラーメン
スナック・ビール

発注ロットを
設定し、「小分け」
した後納品

加工食品・調味料
菓子・嗜好品
雑貨(紙類等一部)

完全に
「小分け」した後
1個単位で納品

酒類(ビール以外)
雑貨

木目細かな商品補充と死筋商品の早期排除を可能とし、無駄な輸送や廃棄ロスを削減

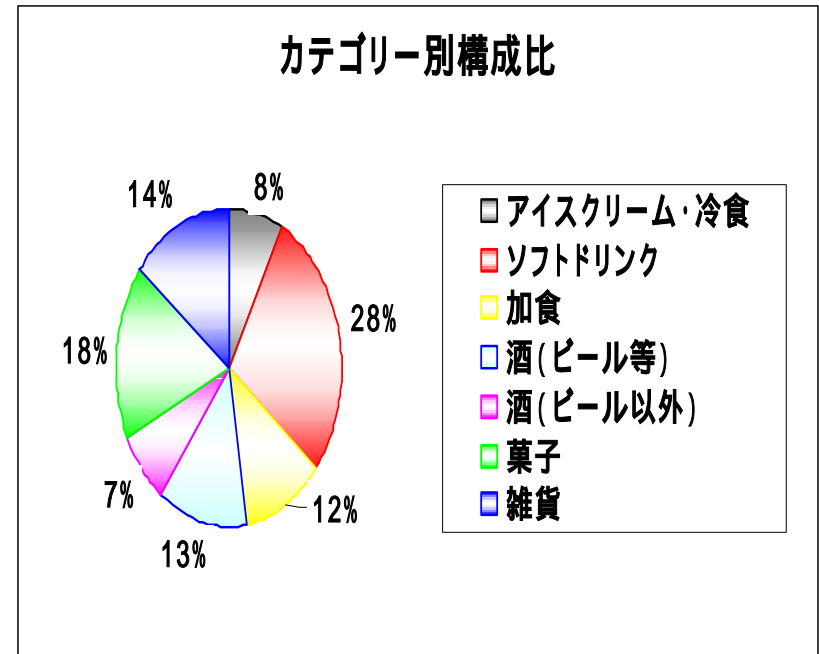
セブン - イレブンの物流

必要な時に納品する・・・計画発注-計画納品の構築

非デイリー商品の発注-納品サイクル

商品カテゴリごとニーズにあわせ配送頻度とリードタイムを設定

代表カテゴリ	配送頻度	リードタイム
冷食・アイスクリーム	週7～3回	発注翌日
ソフトドリンク	週7回	発注 当日夜間 納品
加食	週3回	
酒(ビール類)	週7回	
酒(ビール以外)	週6回	
菓子	週3回	
雑貨	週3回	



発注 - 納品をスケジュールリングし、加盟店、取引先ともに精度の高い商品管理を可能にする

セブン - イレブンの物流

良い状態で納品する・・・温度帯別共同配送の構築

メーカー～物流センター～配送車両～店舗まで一貫した温度管理が可能となる物流インフラを構築

フローズン共配	チルド共配	米飯共配	常温共配
管理温度 - 20	管理温度 5	管理温度 20	常温 (チョコレートのみ25)
アイスクリーム 冷凍食品	牛乳・乳飲料 加工肉・惣菜	米飯 焼立てパン	加食・酒類 菓子・雑貨
拠点: 39センター 車両台数: 375台	チルド単独: 17センター 488台 米飯単独: 18センター 439台 混載: 45センター 1010台	拠点: 47センター 車両台数: 1363台	

- ・専用仕様車を共同開発
車体、コンテナ
メーカーと情報共有
- ・予防整備制度の導入
期間/走行距離を
基準にメンテナンス
を実施



商品の品質 (= 味、鮮度) を維持

例) チルド共同配送の歴史

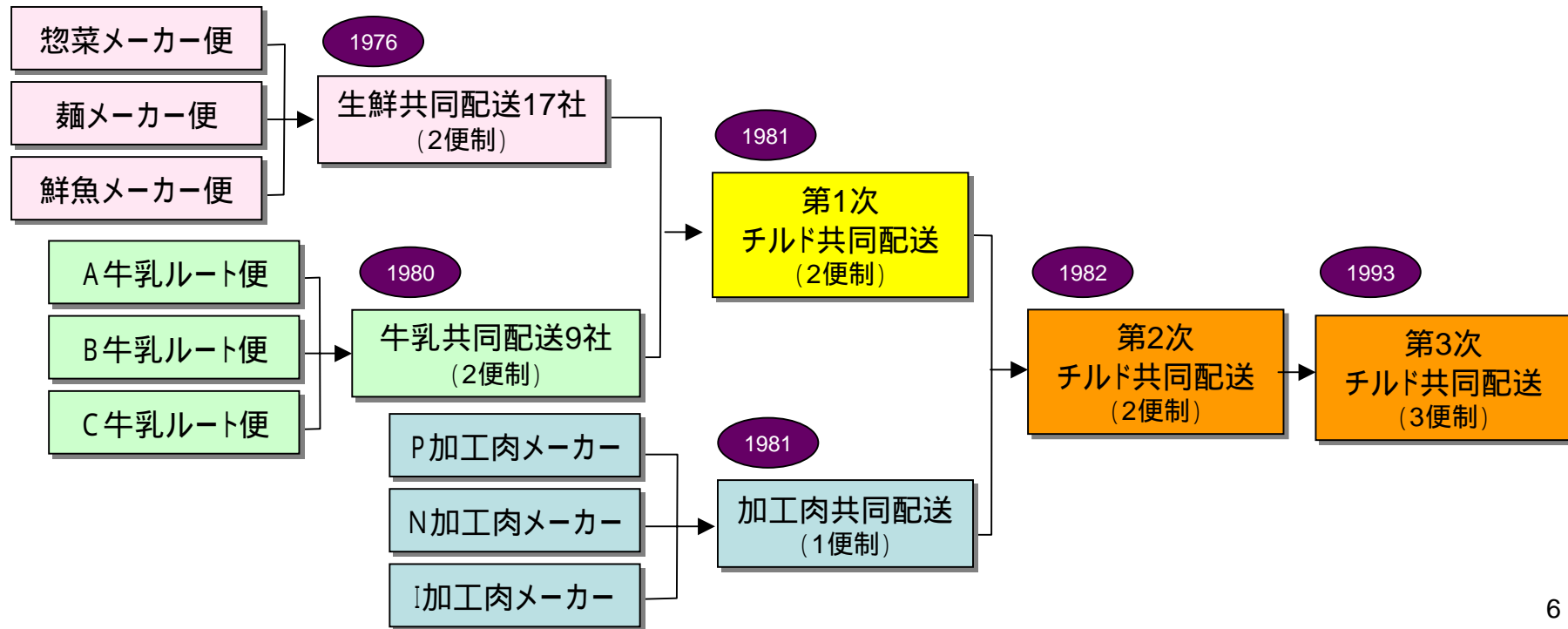
【目的】

1. 必要な商品の品揃え (ルートセールス納品から店発注納品へ)
2. 安定的な商品供給体制の構築 (特約店・問屋都合の納品休み)

【発展過程】

1. 積載効率の向上を踏まえ、チルド温度帯の商品(生鮮・牛乳・加工肉)を段階的に集約する。
2. 物量集約による積載効率の向上をベースに、納品回数を増加する。

【集約過程】



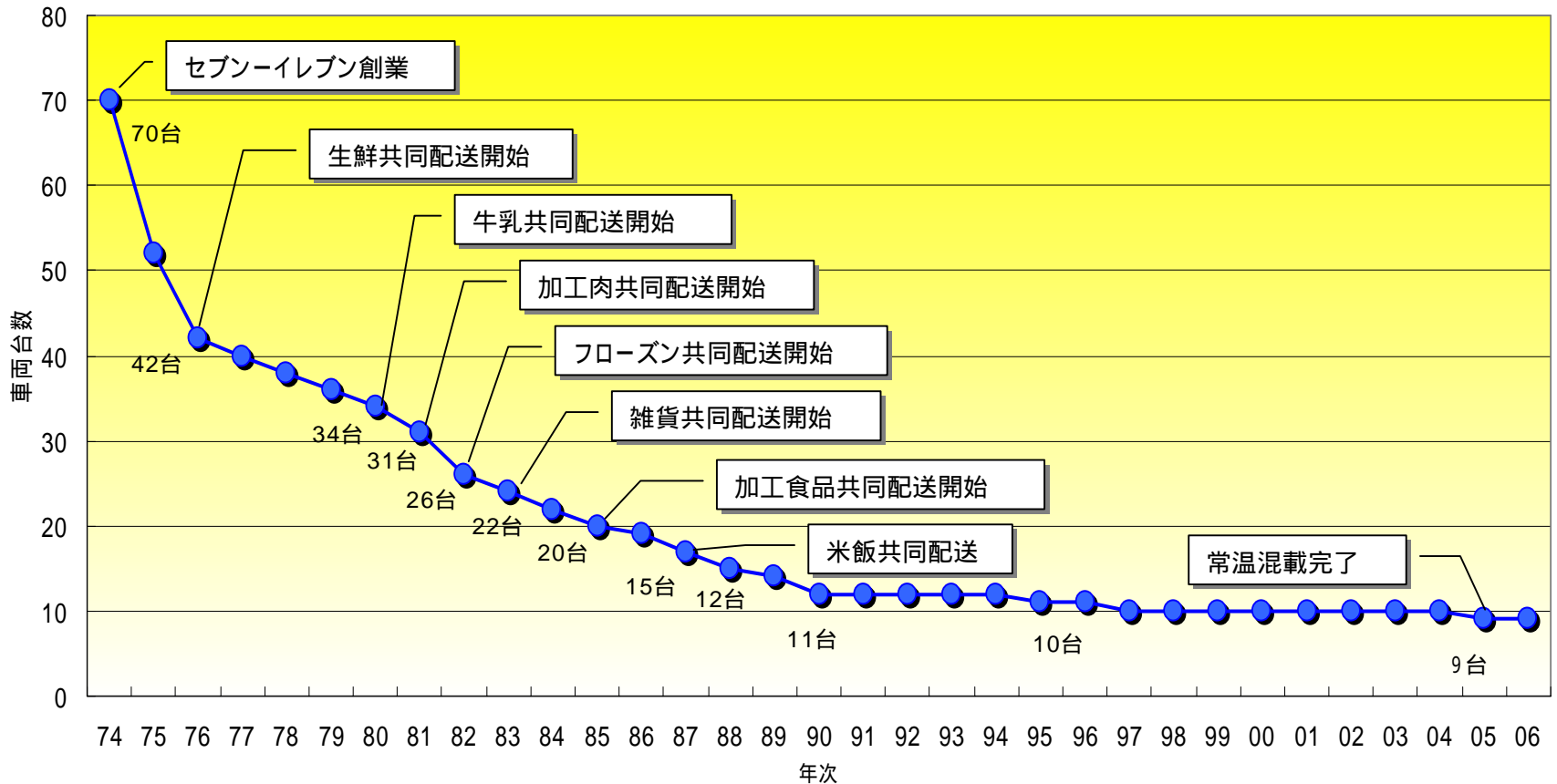
セブン - イレブンの物流

共同配送の車両台数(1店1日当り)

共同配送による車両台数の削減

温度帯別に物流を集約して、1店舗(1日)への車両台数は、当初70台から9台へと大幅に削減。

配送車両の納品台数(1日・1店)



周辺の皆様のご迷惑にならないように、また短時間で納品を終了させるためお店から、ご協力をいただきたい

事前の準備をお願いしたい内容

返品 保管場所の設置



返品商品、回収品は保管場所を準備し、従業員さんがわかるように準備をお願い致します。

金券、回収帳票の事前準備



クーポン券引取り書、委託商品在庫報告書、金券など保管場所を決め、速やかな引渡しをお願い致します。

空番重の整理



配送員さんがすぐに番重を持ち帰れるように整理をお願いします

回収を速やかに行う

お店に協力頂きたい内容

短時間で納品を終わらせる

店頭の自転車の整理



店頭の放置自転車の確認
納品時間前には一度整理を
お願い致します
(スピーディーな商品搬送)

バックルームの整理



バックルームの整理を
お願い致します
納品スペースの確保
(スピーディーな荷降ろし)

小型平台車の準備



小型平台車の準備を
お願い致します
納品作業の効率化
(スピーディーな荷降ろし)

納品商品の速やかな整理



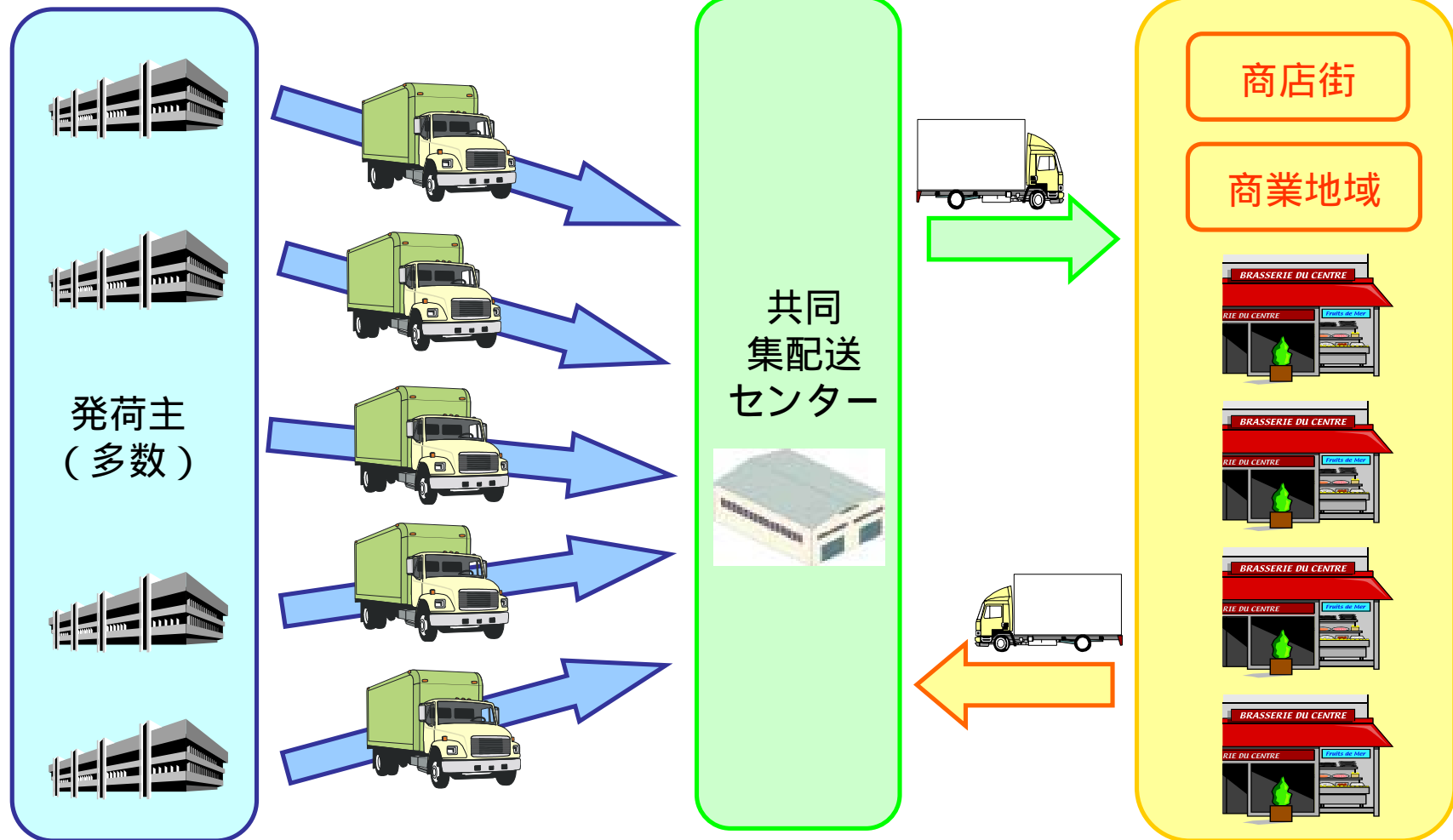
納品時、数回往復作業が発生
します。迅速な納品のため、納
品商品の整理をお願い致しま
す (スピーディーな荷降ろし)

立会い検品等の優先実施

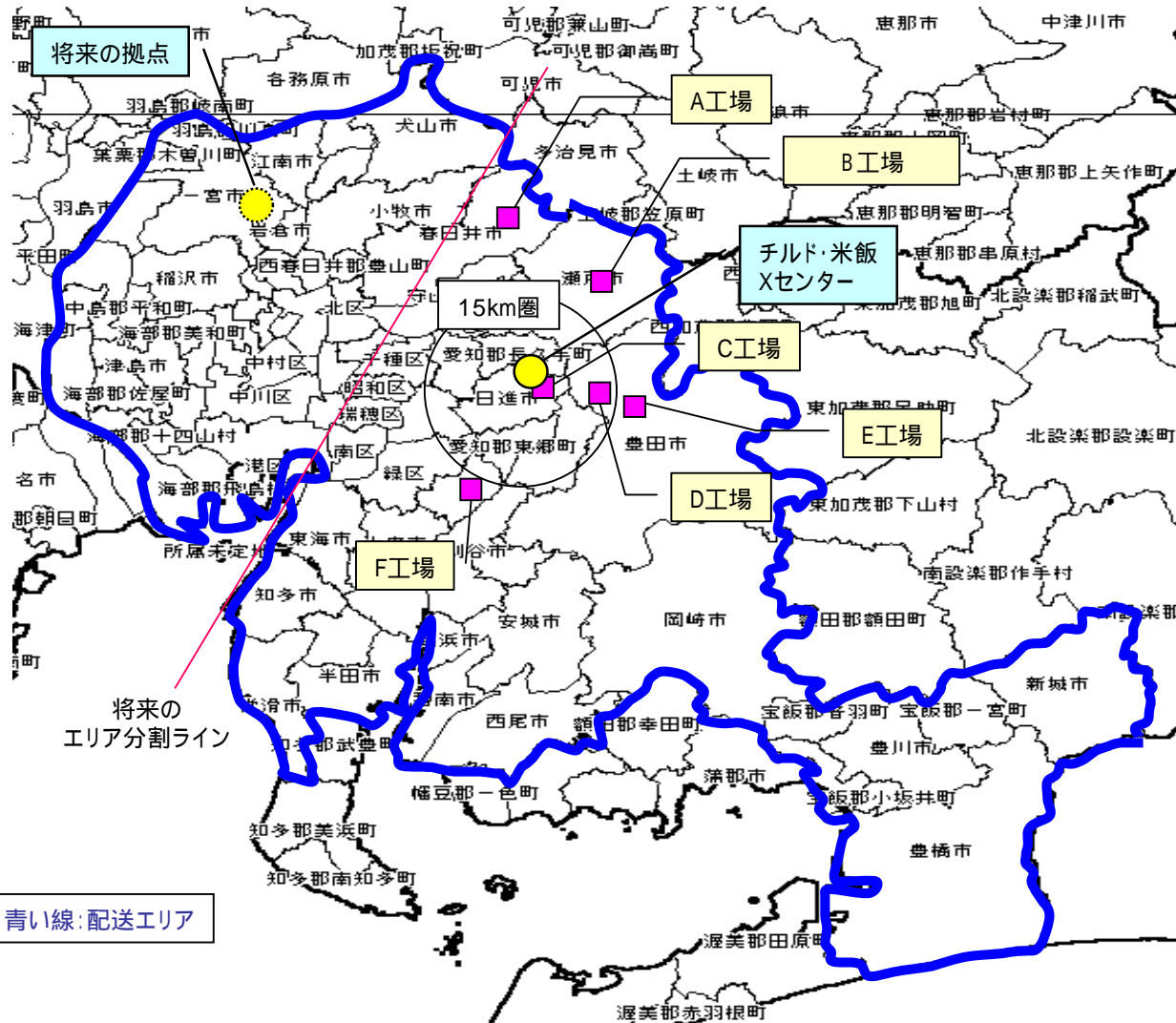


立会い検品、回収品引渡しの
優先実施をお願い致します
(スピーディーな作業)

商店街における共同配送



セブン-イレブンにおける共同配送



地域の重心にセンターをおく

センターに商品を集めて共同配送、個店間は最短でも500m位

C V S の物流からみた課題

発荷主の荷物については、集中出店された地域に、合理的な頻度及び時間で、共同配送の仕組みを作る事ができる。

(積載効率の向上、無駄な配送車の排除等)

納品店については、ドミナントされているとはいえ、店間500mはある事から、個店ごと駐車場所の確保が必要となり、対応策に苦慮している。

ドライバー二人乗車については、駐車している時にドライバーがいるかいないかの事であり、本質的な解決にならない。



都市内物流効率化のために

納品車輛については、駐車禁止区域での一定時間(約30分)の積み下ろしについて、駐車規制から免除する。(納品車輛及び、着荷主も納品時間短縮のための必要な手段をとる事が前提)

商業ビルについては、トラックが駐車できる駐車場インフラを整備する。主要道路の短時間の荷捌きエリアを増設する。